～異文化交流活動：某学校でのワークショップ（武蔵嵐山駅最寄り）後、川越での午後観光の様子～

川越は、江戸時代の面影を今に残す「小江戸」として知られる町で、歴史的な蔵造りの家屋や石畳の通り、和の風情を感じさせる街並みが今も多く残っています。日本の伝統的な建築様式を見ることができる場所として、国内外の観光客にも人気の高い地域です。

図 1　川越駅前にて

2025 年 7 月 17 日、この川越にイギリスからの参加者 17 名（途中より 15 名）とともに訪れ、午後の時間を使って異文化交流活動を行いました。

武蔵嵐山駅で集合し、森林公園駅で乗り換えて川越駅へ向かいました。駅に到着後は、お腹が空いた～と各自で昼食へ。ラーメン、回転寿司、そして日本風にアレンジされたサンドイッチやパスタなど思い思いの日本の味を楽しんでいました。パン屋で総菜パンを購入する姿も見られ、日本の食文化への関心の高さがうかがえました。

その後、100 円ショップをぜひ見たいということで、立ち寄りました。その理由が、翌日の中学生との交流で使用するキャラクターシールなどを購入したいとの事で、アイディア、優しさに触れ交流に向けての意識の高さに驚きました。
彼らと言えば 100 円ショップの品ぞろえの豊富さや、価格以上の品質に驚いている様子でした。

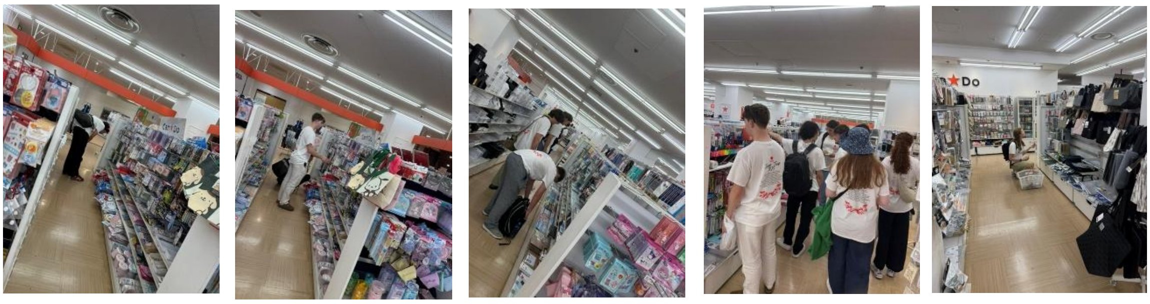

図 2　100 円ショップにて

図 3　「時の鐘」を背景に

事前に英語バージョンの川越マップを探しておき、各自に配布、簡単に説明して、行き先をピックアップして、川越観光を始める事としました。

バスで小江戸川越一番街商店街付近に移動すると、歴史ある街並みに「ワオ！」と声を上げるなど、参加者たちは大きな興奮を見せていました。お香屋、キャラクター雑貨店、さつまいもを使った和菓子のお店など、それぞれが惹かれた場所へ思い思いに足を運び、短いながらも充実した時間を過ごしました。
最後にお菓子横丁を訪れ、和柄の小物や懐かしさを感じる駄菓子、飲み物などを手に取りながら、ゆったりと散策を楽しみました。
ただ全体的には、バスの本数などの制約もあり慌ただしいツアーとなってしまいましたが、みな協力的で助けてくれました。
中には「もっと時間が欲しかった」と話すメンバーもおり、街歩きの楽しさを感じてくれたな感が伝わってきました。

図 4　賑わう川越商店街散策　スヌーピーショップにて

帰りの電車では、車窓から見える緑豊かな森や、時折差し込む夕陽を眺めながら「まるで絵のような風景」「これが日本らしさだね」といった声があがるなど、自然の美しさにも深く感動している様子が印象的でした。

短いながらも、日本の伝統文化や生活の一端に触れることができた今回の川越訪問は、参加者にとって貴重な交流のひとときとなってくれたかなと、自負しています。

図 5　無事コミュニティバスへ乗車

いつの日か See you again !!